

匝瑳市区長会「まちづくり懇談会」概要

テーマ：6つのまちづくりビジョンと7つの重点施策について

- 1 日 時 令和5年11月18日（土）10時～11時15分
- 2 場 所 市民ふれあいセンター3階大ホール
- 3 参加者 匝瑳市区長会役員13人（欠席2人）
- 4 市職員 市長 副市長 教育長 秘書課長 企画課長 総務課長 財政課長 環境生活課長 建設課長 商工観光課長 農林水産課長 福祉課長 学校教育課長

5 概 要

- （1）開会
- （2）区長会長あいさつ
- （3）市長あいさつ
- （4）自己紹介
- （5）懇談会
- （6）閉会

6 懇談会の概要

座長

まちづくり懇談会発言要旨に基づき、順次進めさせていただきます。

なお、持ち時間は、おおむね1人15分程度でお願いします。

発言要旨における内容の発言をお願いします。

発言者

6つのまちづくりビジョン「安心安全に暮らせるまちづくり」について「激甚化する風水害への対策」「通学路の防犯、交通安全対策」「道路等のインフラ整備」について伺いたい。

まず「激甚化する風水害対策」についてだが今年の9月7日と8日に大雨注意報が発令されるような大量の雨が降ったことがあった。この時に飯高地区と吉田地区、匝瑳地区の間を流れる借当川が氾濫し広域農道が通行止めとなった。地球温暖化の影響か年々雨の降る量が増えているように感じている。借当川のような

氾濫する河川に対してどのような対策を考えているのか聞かせていただきたい。

次に「通学路の防犯、交通安全対策」についてだが道路上や歩道上に雑草が伸びている場所が多く見受けられる。以前、飯高檀林コンサートで使用する臨時駐車場や駐車場と会場とを結ぶ道路の清掃を行ったが、飯高特別支援学校の通学路となっている歩道上が雑草に覆われている状況にあった。どのような対応を考えているのか伺いたい。

次に「インフラ整備」についての質問だが、数年前の台風上陸時に地区で停電が1週間から10日間も続いたことがあった。区民からは木の枝が電線の場所まで伸びている場所があり、再び台風が来た際に木の枝が折れ、電線が切断されてしまい再び停電になってしまう危険性についての意見が出されている。この点についてもどのような対策を検討しているのか伺いたい。

座長

それでは、発言に対し、市長はどのような考えか、答えをいただきたい。

市長

ただ今のご質問にお答えします。

「激甚化する風水害への対策」についてのご質問ですが、近年、台風の大型化や豪雨による被害が各地で頻繁に発生していることから、風水害に対する防災対策の重要性が一層高まっているものと認識しております。

大規模な災害が発生した場合に、最も重要なことは、命を守るための適切な避難行動であります。風水害は、突発的に発生する地震とは異なり、気象予報等に基づいてあらかじめ備えることが可能であるという特徴があります。

そのため、本市では、避難場所や避難所、洪水等による浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の防災情報を掲載したハザードマップを市内全戸に配布し、市民の皆様へ、日頃からの備えを呼びかけているところであります。

また、今年度は、そのような情報伝達体制の強化を図ることでより迅速かつ確実に避難指示等の重要な情報をお伝えできるよう、登録された方の携帯電話やスマートフォンへメール配信ができる防災メールの導入を予定しているところであります。

次に「通学路の防犯、交通安全対策」につきましては、平成24年に匝瑳市通学路交通安全プログラムを策定し、毎年、通学路の合同点検および通学路安全推進

会議を実施し、通学路の安全確保に努めております。

通学路の合同点検では、区長および PTA 会長の皆様から情報提供や、ご提案をいただきながら、各学校で要対策箇所の取りまとめを行っています。

要対策箇所につきましては、市、学校、警察、千葉県が合同で現地点検を実施し、現地の状況に即した効果的な対策の検討を行います。

その後、通学路安全推進会議において、各団体の実施すべき対策事項について擦り合わせを行った上で全体の対策を決定しています。

また、前年度の要対策箇所についても再度検討を行い、漏れなく対策を実施することに努めております。

なお、対策事項につきましては、市ホームページ上でも公開しておりますので随時ご覧いただければと思います。

次に「生活基盤の整備」についてのご質問ですが、まず広域農道の冠水対策についてご説明させていただきます。

借当川は、県道佐原八日市場線から栗山川へ至る支川であります千葉県が管理する 2 級河川となっております。豪雨の際には先ほどのお話にありましたが栗山川の水位が上昇し、借当川の流れが滞り、本河川と並行する 市道 103 号線（東総広域農道）が冠水する状況が発生してございます。範囲はご存じの通り長丘地先から山崎地先までの約 1.5 km であります。この冠水を防止するためには、道路高を高くする改修工事が考えられますが、先ほど申し上げた通り道路延長が長く、莫大な工事費が必要となり、現時点では現実的に非常に困難な状況にあると考えております。本川である栗山川の堆積土撤去や 築堤工等による流下能力を向上させる河川改修事業を千葉県へしっかりと要望してまいりたいと考えております。なお、借当川の氾濫に伴い 市道が冠水し、通行が困難な場合には、関係機関と調整の上、通行止め等の対応を図っており、本年 9 月の台風 13 号接近に伴う大雨発生の際にも通行止めを実施させていただいたところであります。

次に歩道の雑草対策についてですが、通学路や交通量の多い道路等のほか、危険箇所や要望箇所に対しては交通に影響する範囲の除草作業を、業務委託および職員により定期的実施させていただいております。

なお、県道の雑草管理につきましては、県の海匠土木事務所へ情報を提供し、除草対応をお願いしているところでございます。

今後も通学路や危険箇所、要望箇所等の除草作業を実施し通行の安全確保にしっかりと努めてまいります。

また台風による被害対策についてですが、近年、本市において最も大きな被害のあった災害は先ほどお話にありました令和元年9月に上陸した房総半島台風（台風第15号）によるものであります。この台風によって、多くの家屋が損壊したほか、倒木の影響による長期間の停電、断水など、甚大な被害が発生したことは皆さまも記憶されていることと存じます。

この災害を受けて、本市では災害時の停電の早期復旧を図るため、東京電力パワーグリッド株式会社成田支社と連携協定を締結いたしました。

この連携協定の内容といたしましては、停電復旧の支障となる樹木などの障害物の除去について相互協力を行うこと、また東京電力パワーグリッドから市へ連絡調整員の派遣を受け、情報共有を図ること、さらには電源車の配備など、停電の早期復旧に向けた対応について定めているところであります。

また、断水が発生した場合の対策といたしましては、八匠水道企業団へ給水車の派遣を要請し、応急給水を行うこととなりますので、先日、実施した総合防災訓練において、断水の発生を想定した給水訓練を行うなど、災害時の応急給水体制に万全を期すよう確認を行っているところであります。

今後も安心安全に暮らせるまちを築くため、引き続き、生活基盤の整備を着実に進めて参りたいと考えております。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

市長が掲げる7つの重点施策「シニア世代の輝く街をつくる」の中に記載のあるデマンドの意味とデマンド交通の具体的な構想を伺いたい。

座長

それでは、市長お答えいただきたい。

市長

ただ今のご質問にお答えします。

まず、このデマンドとは、英語で需要や要求を意味する言葉で、「こうだったら便利だ」「こうならいいのに」といった「あったらいいな」を指したものとなって

おります。

その上でデマンド交通の具体的な構想についてのお尋ねですが、本年4月1日から導入を既にしておりますデマンド交通は、市民の皆様からの予約のもとに、複数の利用者が同じ時間帯に乗り合いで、目的の乗降ポイントに向かう送迎サービスとなっております。

運行する区域としましては、市内全域を北部と南部の2つのエリアに分けており、そのエリアごとにセダン型のタクシーを1台ずつ配置しております。

基本的に運行車両は、それぞれのエリア内を運行することとしておりますが、市内の医療機関や国道126号及び旧国道沿いに設けてある乗降ポイントについては、エリアにかかわらずご利用いただくことが可能となっております。

市内循環バスとは異なり、決められた路線や時刻表がありませんので予約することで利用したい時間、さらには目的の乗降ポイントまで行くことができます。まさに「あったらいいな」を目指すものとなっております。その点を周知しつつ、利用促進をこれからも図っていきたいと考えております。本日、それに関する資料を配布しておりますのでお目通しいただければと思います。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

7つの重点施策の「農業所得向上」について質問する。

農業経営者の高齢化に伴い、遊休農地が目立ってきており、後継者も少ない現状にある。遊休農地の今後の活用について、現在どのような考えがあるのか。また、農家の所得向上に繋げるためにどのような対策を考えているのか伺いたい。

座長

それでは、市長お願いします。

市長

ただ今のご質問にお答えします。

はじめに、遊休農地の今後の活用についてのお尋ねでございますが、ただ今のご発言にもありましたように、私も農業従事者の高齢化や後継者不足に伴い、適正な管理がされていない遊休農地が増加していると認識しております。

遊休農地の増加は、雑草や雑木の繁茂等による病虫害や鳥獣被害の発生、担い

手に対する農地の利用集積の阻害、ごみの不法投棄にも結びつく恐れがあることから、新たな発生を防止するとともに、利活用の推進が重要であると考えております。

現在、市では、市農業委員会と連携しまして、担い手への農地のあっせん・集積や、多面的機能支払交付金事業などを活用した遊休農地の発生状況の把握、草刈り作業等による農地の維持管理などに取り組んでいるところであります。遊休農地の解消は、農業を基幹産業とする本市にとって重要な課題でありますので、今後も市農業委員会や千葉県農業事務所等の関係機関としっかりと連携を図りながら、効果的な施策を講じてまいりたいと考えているところでございます。

次に、農家の所得向上についてのお尋ねであります。私が重点施策の一つに掲げております「農林水産業の所得向上」を図るため、本年4月に産業振興課を農林水産課と商工観光課に組織改編するとともに、農林水産課内に農業戦略室を設置し、新たな視点に立った農業施策の展開と地域農業の発展を目指した取り組みを進めているところでございます。

今月2日には、市内水稲生産者の新たな取り組みにつながればとの思いから、副市長、農林水産課長及び課職員と共に、水田を活用した麦・大豆生産の先進地である、横芝光町篠本新井地区の営農組合を訪問し、麦・大豆のほか、高収益作物であるネギの生産販売など、所得向上に向けた経営方法を勉強させていただいたところであります。

また、市ではこれまで、効率的かつ安定的な農業経営を目指して経営改善に取り組む農業者を育成するため、平成26年9月に作成した「匝瑳市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」により、農業振興に関する各施策に取り組んできたところであります。

本年9月には、近年の社会経済情勢の変化に対応するため、この基本構想の見直しを行い、次世代を担う人材の確保および育成、産地収益力の強化や農業所得の向上、市場動向をとらえた販売力の強化等の取り組みを新たに掲げたところでございます。

今後、新たな基本構想に基づきまして、経営経費削減や労働時間の短縮等による生産コストの削減や農業従事者を目指す若者が増えるよう、きめ細やかな環境づくりに取り組むとともに、市外に向けたシティプロモーションや私自身が行い

ますトップセールスによる本市の魅力発信、またPR活動を充実させていきたいと考えております。併せて、ふるさと納税の返礼品など、関連施策との連携も図りながら、地元農産物・特産物のブランド化や6次産業化による知名度向上や販路拡大等を通じて、農業者の所得向上につながるよう今後も積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

7つの重点施策「未来を担う子育て支援」についてだが、現在、学童保育のため、豊栄小学校からあかしあこども園までバスでの送迎があるが八日市場小学校からは無い状況にある。八日市場小学校からあかしあこども園までのバス送迎を新設して欲しい。

座長

それでは、市長はどのような考えか、答えをいただきたい。

市長

ただ今のご質問にお答えします。

あかしあこども園のバス送迎に係るお尋ねでございますが、当該施設は社会福祉法人が経営する民間の認定こども園として独自の運営がなされていることから、その運営方針やサービス内容なども、公立保育所とは異なる部分がございます。

バスの送迎につきましても、園独自のサービスの一つになっており、そのサービス内容につきまして、市として直接意見等をすることは難しいと考えます。

しかしながら、本日のまちづくり懇談会の中で、ご要望を頂いたことを、こども園側に伝えることは可能でありますので、「市民からの声」ということで、その旨お伝えさせていただきたいと考えております。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

市長が進める7つの重点施策の中の「未来を担う子育て支援」だが、幼児・園児を対象とした様々な支援、その保護者に対する支援など手厚く行ってもらっていると感じている。子育て支援に直接関係ないが小学校並びに小中学生に関する

ことを2点お伺いしたい。

一点目だが今後の吉田小学校の存続について見通しをお聞きしたい。ご存じのように吉田地区は高齢化が進行しており年々地区の小学校の児童数が減少している。現在の中学校一年生が小学校に入学した平成29年度には全校児童数が55人であったが、その子供たちが卒業するときの小学校の在籍児童数は40人となり、6年間で15人も減少している。今年度については全校児童数が34人であり地区の子供たちが非常に減ってきている状況にある。地区の人に確認すると来年度以降も子供の数は減っていくとの話を聞いている。

今後、地区の小学校が存続していけるのか、その存続について伺いたい。なお、平成22年に飯高小学校が廃校になった際の児童数が33人、平成28年に廃校となった匝瑳小学校の児童数は29人であったと伺っており、その点心配している。

二点目は不登校問題についてだが、最近のニュースで東京都の不登校児童数が過去最多となったとの報道があった。匝瑳市の場合、数字が見当たらなかったが千葉県では平成29年の小学校の不登校児童数が1611人、中学校が4734人だったのに対し令和元年には小学校で3600人、中学校で6528人と非常に多くの不登校が増えている現状にある。このような不登校問題について、教育委員会ははじめ各学校、先生方が尽力していることは承知しているが今後も不登校問題の解消、その保護者への支援を含め、さらなる尽力をお願いしたい。

座長

それでは、市長はどのような考えか、答えをいただきたい。

市長

ただ今のご質問にお答えします。

ご心配されております小学校の今後の見通しについてのお尋ねですが、匝瑳市では、異なる学年の児童が同じクラスで授業を受ける複式学級がその学校で2つ出現した時に、今後の小学校の在り方について検討を始めることとしています。

今後も、地域、保護者の方々の思いを大切にしながら児童数の推移を見守りながら適切な対応を検討してまいりたいと考えております。

次に、児童生徒の不登校についてですが、本市でも大きな課題であると認識しております。市教育委員会としても学校と連携を図り、不登校の解消に向けた取り組みを行っております。具体的には、不登校児童・生徒の学校生活への復帰支

援を目的に設置する適応支援教室（さわやかルーム）の開設、スクールソーシャルワーカーによる教育相談や当該校への支援、スクールカウンセラーによる教育相談など児童生徒の実態に応じた支援を行っております。

今後も、引き続き、子ども達に寄り添いながら、不登校児童生徒の解消に向けてより一層努力してまいりたいと考えております。

座長

続いて発言をお願いします。

発言者

7つの重点施策全般の進捗状況を中心に意見を述べたい。

今月号の広報紙の中で「6つのまちづくりビジョンと7つの重点施策に取り組み、今住む人がしあわせに暮らし、若者や子どもたちが住み続けるまちづくりの早期実現に向けて邁進する」と記載してありましたのでその点について意見を述べます。

まず7つの重点施策の進捗状況について伺いたい。一市民としてみるとあまり進んでいるとは思えず実感できない。

例えば重点施策である銚子連絡道路インターチェンジ周辺の整備については、どのように整備するのかまったくイメージが湧いてこない。ポンチ絵などを出して市民に理解してもらってはどうか。

市民が求める生活基盤の整備について道路や生活排水、災害に強いまちづくりを進めるとのことだが、市役所を中心に南北に線を引いたときに南部エリアの西側は道路整備が進んだ状況にあるが東側は半世紀以上なにも変わっていない。住みやすい安心安全な道路は地域発展に必要なものではないかと考える。共興・平和・椿海・豊和を結んだ南北の道路整備ができれば地震による津波からの身を守るための避難道路としても活用できる。

来年度から始まる銚子連絡道路の延長工事についてだが、側道としての管理道路を大型車がすれ違える道路として整備してもらおうよう県に嘆願してもらいたい。そうすれば新しくできる病院や市内への買い物に向かう時間が短縮される。それだけでなく成田や千葉に勤務している人の通勤時間も短縮される。南北を通過する道路と銚子連絡道路側道とを一緒に接続すればメリットが大きいと感じる。

駅についての意見だが、重点施策には駅南口の改札口についての記載があるが、

利用者としては横芝駅の最終電車はかなり遅くまであるので八日市場駅にその電車が伸びてくるような働きかけをしてもらいたい。併せて通勤で利用するため千葉駅に8時頃に到着できる特急電車を走らせるよう要望してもらいたい。実現すれば利用者も増え、南口の改札も設置できるのではないか。特急券も安く利用したいので500円程度で利用できるようになればと思っている。東日本旅客鉄道株式会社とこれらについて協議し、実現すれば駅利用が便利になり利用率も上がるのではないかと考える。

空き家関係についてだが最近、家の周りに空き家が増えてきている。高齢者世帯も増え、このことも対策が待ったなしの状況である。

以上のような匝瑳市が抱える課題への対策をスピーディーに進めるためには、今の縦割り行政を改め、市長直轄の戦略室のような組織を整備し、事業の取りまとめ役として会議開催などを行い、事業進捗状況を市長が直接確認していくようなやり方があると思う。この戦略室からの報告に基づき、課題や問題点について職員と一緒に協賛していく。このような取り組みが職員のやる気を出させ、意識改革にもつながってくるのではないかとと思っている。

それから先日、飯高檀林コンサートに行ったとき「匝瑳には歴史がある」「縄文時代から人が住んでいた」と語り部の人が出ていた。匝瑳市のパンフレットにも記載してあるが、このことをもっと市外に情報発信してはどうか。情報を受け取った人の中から、匝瑳市に住みたい人が出てくるのではないか。情報発信をどうすれば人々の心に届くのかを考えて実践してもらいたい。匝瑳市の祇園祭は市内外の人々に知れ渡っている。これは千葉テレビで放映され、地井武男さんが宣伝してくれた結果だと思う。このことはとても大きい。祇園祭以外にも匝瑳市には魅力があふれていると思うので匝瑳市に住みたいと思える情報発信をお願いしたい。

座長

それでは、市長のお答えをいただきたい。

市長

さまざま貴重なご意見を拝聴でき、ありがとうございました。ただ今のご質問にお答えします。

「もっとスピーディーに実施するための提言」につきましては、現在、企画課

内に「まちづくり戦略室」という部署を既に設置しております。この部署は、さまざまな課題解決に向けて各課を横断的に結び付けるとともに、プロジェクトチームを構成して事業の進捗を図るための部署として現在、活動しております。今後はこれらの取り組みが、しっかりと目に見える形でお伝えできるよう進めてまいります。

なお、参考までに7つの重点施策についての進捗状況についてお伝えさせていただきます。

1つ目「市民が望む新病院の建設」につきましては、現在、建設候補地を盛り込んだ建て替え整備基本構想、基本計画（案）の検討を行っているところでございます。また、東総地域における基幹病院である「旭中央病院」と「匝瑳市民病院」の機能分化と連携強化を図るために「旭中央病院・匝瑳市民病院医療連携協議会」を本年6月に立ち上げ、今現在、新病院建設に向けた調整を合わせて進めているところであります。なお、建設候補地は現在、駅南側で検討を進めております。

2つ目「シニア世代の輝く街をつくる」につきましては、今年4月よりデマンド交通の運行を開始しました。また高齢者が集い、介護予防が行えるよう「匝瑳市版いきいき百歳体操」のDVDを作成し、各地域の通いの場での活用を始めました。このような活動の場も増えてきているところでございます。市民の皆様からも「毎週行っている」とのお声をいただいております、だんだんと浸透してきていると感じているところであります。

3つ目「農林水産業の所得向上」につきましては、先ほどのご質問にお答えした通り、今年度より従来の産業振興課を商工観光課と農林水産課に分け、農林水産課内に「農業戦略室」を立ち上げ、機能強化を図るとともに、専門的な検討を進めているところであります。

4つ目「銚子連絡道路インターチェンジ周辺の整備」につきましては、先ほど申しあげました商工観光課内に企業立地推進室を設置し、県からの職員も配置しましてインターチェンジ周辺の事業推進体制の強化したところであります。事業化想定区域に企業の誘致ができるようにさまざまな調整等を進めているところであります。その第1段階としまして昨日、関係者の皆さんに説明会を行わせていただいたところであります。今後より計画が具体的になってくれば計画の進捗状

況やポンチ絵のような物を作って提示していきたいと考えております。もうしばらくお時間をいただければと思います。

5つ目「市民の安全を守る新消防署の建設」につきましては、匝瑳市横芝光町消防組合の消防庁舎建設検討委員会に市職員を加えることとし、建設候補地について絞り込みを行っているところであります。

6つ目「市民が求める生活基盤の整備」につきましては、道路、橋りょう、排水路、都市下水路について市民要望を最優先して実施しているところです。

さきほどの銚子連絡道路の部分であったり、南北に続く道路の東側が整備されていないことについてですが、銚子連絡道路の第2期区間の工事は令和6年3月末までに完了し開通予定となっております。県事業ではありますが今後実施される第3期区間の進捗のなかで側道の件などについて声を上げていきたいと考えております。

最後に7つ目「未来を担う子育て支援」につきましては、子育て世代から多く要望があり懸案事項であった「病児・病後児保育」について市内事業者と連携し本年6月から病児・病後児保育事業を開始しました。大変好評を得ており、市内外から利用者が訪れております。匝瑳市が子育てしやすい町というイメージを持ってもらえれば、市外から移り住むひとつのきっかけになるのではと考えています。

情報発信についてですが、私自身も広く市の魅力を外部に向けて発信していく「シティプロモーション」は重要であると認識し取り組んでいるところでございます。

しかしながらご指摘の通り市の魅力を市民の皆様が十分に認識していない、あるいは気づいていないと感じることも多くあります。

市の魅力発信を行うのは、市や観光協会などはもちろんですが、SNS等で市民一人一人が発信して行くことも可能であります。まずは市民の皆様により市の魅力が感じられるよう広報紙等を最大限に活用し、また若い世代の方にはSNSも活用して情報を広く知ってもらえるようにしていきたいと考えております。

ご指摘の通り匝瑳市には魅力が多くあります。まずは匝瑳市を知ってもらうことで興味を持ってもらい行ってみたいと思ってもらう。そこで関係が生まれ、地域の人との触れ合いから匝瑳に住んでもらえるような繋がりを創る取り組みをこ

れからも実施していきます。

情報発信ではこのほか、年明け以降に市公式 LINE をスタートする予定であります。これにより情報発信にさらに取り組んでいけるようになると思うので今後ともよろしくをお願いします。

座長

各区長会長の発言が終わりました。ほかにご意見はございますか。

発言者

匝瑳市が脱炭素先行地域に選定され、田んぼにも太陽光パネルを設置するとの話を聞いたが、匝瑳市全域の田んぼを対象としているのか。それとも豊和・椿海地区の一部のみを対象としているのか。

市長

脱炭素の取り組みは、前太田市長の時代から行われており「ゼロカーボンシティー宣言」などが行われてきた経緯があり、私自身の6つのまちづくりビジョンにも脱炭素への取り組みが盛り込まれています。

匝瑳市でも環境問題は非常に重要な問題です。先ほど激甚化する風水害の話もありましたが、この要因の一つに地球温暖化が考えられています。原因となっている二酸化炭素を減らす取り組みは非常に重要です。

脱炭素による環境問題解決のため、国の脱炭素先行地域の選考に事業計画を応募し、本年11月の第4回選考で選定されたところであります。この選定により今後、最大で約50億円程度の補助金等が活用でき、これをもとに地域の脱炭素化を進めていく予定となっています。

ご指摘の水田への太陽光パネル設置は脱炭素事業の一つである営農型ソーラーシェアリングというものであります。

事業計画予定地とした豊和・椿海・中央地区で営農型ソーラーシェアリングを今後進めていくこととなりますが具体的な部分はこれから調整していくことになります。

脱炭素化ではこのような取り組みを先進的に初めていこうとしています。区長の皆さま方のご理解ご協力をいただければならないことも多々あると思いますので今後ともご協力をお願いいたします。

発言者

田んぼはつくっても大丈夫か。

市長

大丈夫との認識です。

発言者

畑ではできても田んぼではできないのではないか。

市長

最近では日差しが強いこともあるのでイメージとしては田んぼでも畑と同様にできる認識でおります。

座長

進行役として恐縮だがひとつお尋ねしたい。

先程来、児童生徒の不登校などについての問題が出ていた。

児童だけでなく先生や市役所職員の心身の健康が害されたことはないか。

市長

仕事において職員もいろいろと難しい対応を迫られることもあり、思い悩むこともあるかと思う。働きやすい職場環境や悩んだときに相談できる体制の整備を進めてこの問題に対応しています。

職員が働きやすい環境整備として人員を増やしたり業務の平準化を図ったりということを積極的に行っており、職員の新規採用にも力を入れているところである。働き方改革を進め、ワークライフバランスというものもしっかりと保てるようにしたい。しっかりと仕事ができ、気分転換もできる。職員の私生活が充実できるように私自身も職員と一緒にコミュニケーションを取りながら働きやすい職場づくりをこれからも目指していきたいと考えています。

座長

今日は区長の皆様からインフラ整備関係から子育て支援、シニア世代の福祉関係など多岐にわたってご意見をいただき、また市長からも意見に対する考えを頂戴しました。今回の懇談を市政に生かしていただければと思っています。

最後に本日の全体を通しまして市長から一言コメントをいただきたいと思います。

市長

本日は長時間にわたり、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

区長会の皆様から頂戴しましたご意見等は、今後の市政の中に生かしていきたいと考えております。

市の活性化に向けた取り組みについて、区長会の皆様と一緒に考えていき、歩みを共に進めていければと改めて感じたところであります。

地域活性化の取り組みには、何よりも地域住民のご理解をいただけることが前提になると考えております。実際に事業に取り組むにあたっては、地域住民の理解が得られなければ何一つ前に進んでいかないと考えております。

そのようなことから地域住民の皆さんとの日頃からの橋渡し役を担っていただいております区長会の皆様には今後とも様々な面でご理解ご協力をいただき、まちづくり一丸になって進めていければと考えております。

今後ともご協力をいただければと考えております。

本日は貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

座長

ありがとうございました。

本日はまちづくり懇談会に長時間にわたり、真摯な意見交換や質疑応答を行っていただき、宮内市長はじめ市役所幹部職員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

今回の懇談会の内容を今後の市営運営に生かしていただきまして市政のますますのご繁栄をお願いしたいところであります。

本日、この懇談会に参加された皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念して座長の座を降りさせていただきます。本日はありがとうございました。

以上